

I 公民館の充実発展に関する事業

【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」及び「ブロック公民館大会」を7地域区分(北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)で開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で下記のとおりとなった。公民館に勤務する全国の職員等を中心に、6,335名が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議及び大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

《開催実績／全国公民館研究集会及びブロック公民館大会》

地区	会期等	主会場	参加者数
北海道	10/6～7	北海道 壮瞥町	200名
東北	-	秋田県 秋田市	-
関東・甲信越・静	収録開催	千葉県 船橋市	3,097名
東海・北陸	-	福井県 福井市	-
近畿	-	京都府 八幡市	-
中国・四国	-	愛媛県 松山市	-
九州	紙上開催	熊本県 熊本市	3,038名
合計			6,335名

※東北地区は記念誌のみ発行。

※関東甲信越静地区は大会誌発行と収録によるDVD及びネットのオンデマンド開催。

※東海北陸地区、近畿地区、中国四国地区は次年度に同開催地で実施予定。

※九州地区は大会誌発行による紙上開催。

【全国公民館セミナーの開催】

各都道府県を代表する公民館長を中心に100名近くの参加を見込み開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でYouTubeを活用したオンデマンド開催とした。今年度は以下に記載したプログラムで実施。公民館の機能充実に必要なことを動画視聴で習得し、各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

テ マ／新しい公民館のカタチーコロナに負けない公民館活動ー

開催期日／令和3年3月25日

開催場所／YouTube(オンデマンド開催)

参加者数／329名(3月31日までの視聴回数)

《プログラム内容》

シンポジウム

新しい公民館のカタチ（前編、後編）

牧野 篤（東京大学大学院教育学研究科教授）

上田假奈代（詩人、詩業家、NPO 法人こえとことばとこころの部屋代表）

南信乃介（那覇市繁多川公民館長）

公民館をとりまく現代的な課題について、大阪の釜ヶ崎で公民館的な活動をしている上田假奈代さん、そして日本での公民館運営と同時進行で、エジプトの公民館設置をすすめる南信乃介さんにより、コロナ禍での公民館運営などの話題も交えながら、牧野篤さんの進行でシンポジウムを実施。

講演

文部科学省の公民館をめぐる動き

横井理夫（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

公民館にかかわる、文部科学省の最近の動きを講演。

講演

YouTuber による講座づくりお役立ち情報

わさびちゃん（タレント、YouTuber）

けん／ピーチキス（お笑い芸人、YouTuber）

公民館講座のテーマを決めるときに世間ではどんなことに注目しているのかを探るための検索サイトの活用方法と、活動で使用する物品を調達するときに役に立つウェブサイトなどの紹介とその使い方を共有する講演を実施。

講演

新しい時代の講座づくり（前編、後編）

宮城 潤（那覇市若狭公民館館長）

コロナ禍の状況にいち早く対応し、オンライン講座や YouTube による動画配信などを取り入れた若狭公民館の実践と講座づくりについて「システムティック」に考える方法論などの講演を実施。

講演

社会をつなげる公民館へ

牧野 篤（東京大学大学院教育学研究科教授）

公民館がこれからどうすべきなのか、現在の世界的な情勢や国の動き、またコロナ禍での公民館の現状やその他の公民館的な活動状況を踏まえながら総合的に講演を実施。

講演

地元の公民館で元気プロジェクトはじめます

増子 信（明治安田生命保険相互会社）

佐々木聖広（明治安田生命保険相互会社）

公民館との連携を進める民間企業等とコンソーシアムを立ち上げ、全国の公民館で公民館がおこなう講座、特に健康分野の講座開設・運営支援に、民間企業のノウハウや健康分野の知見を生かした講座を提供する「My 定期講座」の取り組みについての講演を実施。

講演

公民館を地域づくりの舞台にしていこう

前田学浩（南国市稲生公民館顧問）

高知県南国市の稲生公民館での活動を参考に、公民館運営の進め方や、これからの活動のあり方についての講演を実施。

タイアップ企画

東京大学の企画である「学びのクリエイターになる！」から3つの事業を動画で紹介。

“ひとづくり”を社会教育施策から市の施策に～地方創生の鍵はひとづくり～

大畑伸幸（益田市教育委員会社会教育課長）

学び革命～このまちに恋してこのまちと生きる～

河内ひとみ（大竹市玖波公民館職員）

アート×社会教育～若狭公民館の挑戦～

宮城 潤（那覇市若狭公民館館長）

【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】

① 相談助言・情報発信

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などを情報発信するとともに個別の照会に対し、電話やインターネットを活用した助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、講師派遣の相談対応、運営に役立つ情報提供などを適宜行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。あわせて、情報提供の基礎的資料として活用するため、「全国公民館実態調査」のまとめ資料を作成し配布した。また、コロナ禍において公民館の安全な運営を担保するために『公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』を作成し、全国に周知して各公民館の対応を促した。

② 国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力

社会教育団体振興協議会の運営を通じて実施される情報交換及び情報発信、より多くの協力者を求めて、国内における社会教育に関する理解を深めるための新規の加入促進を行うとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、公民館施設活用の促進について、積極的な働きかけを行った。

【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している研修などに対して支援をするとともに、その活動状況を発信することによって公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

・各都道府県公連 89 事業に対して 7,036,285 円を助成。

【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度は紙媒体での広報活動を対象にした「全国公民館報コンクール」を行った。

今年度を実施したコンクールの結果は以下のとおり。

（「第 8 回全国公民館報コンクール」の結果一覧）

種類	受賞館報
金賞 (3 誌)	<ul style="list-style-type: none">・ 公民館報「こもろ」(小諸市公民館／長野県)・ 萩市須佐地域公民館だより (萩市須佐公民館／山口県)・ たわらやま村民塾 (長門市俵山公民館／山口県)
銀賞 (9 誌)	<ul style="list-style-type: none">・ 筆甫ふるさとだより (丸森町筆甫まちづくりセンター／宮城県)・ かさかけ公民館だより (みどり市笠懸公民館／群馬県)・ 公民館報「いづな」(飯綱町公民館／長野県)・ ふじみ町公民館報 (富士見町公民館／長野県)・ 公民館報「まつかわ」(松川町中央公民館／長野県)・ 広報ふくま (越前市服間公民館／福井県)・ 志々公民館だより (飯南町志々公民館／島根県)・ はんたがわ公民館 News (那覇市繁多川公民館／沖縄県)・ 広報わかさ (那覇市若狭公民館／沖縄県)
審査委員賞 (4 誌)	<ul style="list-style-type: none">・ まつなが (小浜市松永公民館／福井県)・ さんさん快天 (丸亀市栗熊コミュニティセンター／香川県)・ 月刊長崎市北公民館 (長崎市北公民館／長崎県)・ 山本地区公民館だより「わ」(川南町山本地区自治公民館／宮崎県)
奨励賞 (12 誌)	<ul style="list-style-type: none">・ Toyosato 公民館だより (登米市豊里公民館／宮城県)・ 地域情報誌「和合」(庄内町余目第四公民館／山形県)・ 土屋公民館だより (平塚市立土屋公民館／神奈川県)・ やまなみ (飯田市南信濃公民館／長野県)・ 広報いがら (飯田市伊賀良公民館／長野県)・ 松本市公民館報「鎌田地区版」(松本市鎌田地区公民館／長野県)・ きだより (福井市木田公民館／福井県)・ 能登島新聞 (七尾市能登島地区コミュニティセンター／石川県)・ 西田公民館だより (若狭町西田公民館／福井県)・ 八束公民館報「八束のひろば」(松江市八束公民館／島根県)

	<ul style="list-style-type: none"> ・出西コミュニティセンターだより（出雲市出西コミュニティセンター／島根県） ・やはたさんほーる（玖珠町八幡自治会館／大分県）
--	---

【「月刊公民館」の発行】

公民館の運営に参考になる特集テーマで、地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行し、これを広く供することで公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。今年度は以下の特集を組み発行した。また、誌面と連動した動画配信「月刊公民館ちゃんねる」は、5本の動画を配信した。

（月刊公民館特集テーマ一覧／通巻 755～766号）

4月号	公民館初心者の手引き（上）
5月号	公民館初心者の手引き（中）
6月号	公民館初心者の手引き（下）
7月号	公民館トリビア（上）
8月号	公民館トリビア（下）
9月号	新型コロナ禍における公民館活動（上）
10月号	新型コロナ禍における公民館活動（下）
11月号	失敗を生かした公民館活動
12月号	子どもとともにある公民館（上）
1月号	子どもとともにある公民館（下）
2月号	災害に備える公民館
3月号	第8回館報コンクール結果報告

（月刊公民館ちゃんねる配信一覧／視聴回数はR2.4.1～R3.3.31）

公開日	視聴数	タイトル
過去分	30,536回	※過去の公開分
R2.04.03	2,538回	シンポジウム「公民館がひらく 日本の未来」
R2.06.16	760回	ちがさきに天使が舞い降りた【月刊公民館ちゃんねる・お笑い芸人バーゲンセール茅ヶ崎市松林公民館ドタバタ取材篇】
R2.06.21	2,886回	ナトコ映画【公民館】（1950年）月刊公民館ちゃんねる特別配信
R2.10.11	1,121回	公民館がつむぐ地域のものがたりー広島市古田公民館一
R2.12.18	515回	史上初！コロナ禍のオンライン公民館千葉大会の1日
今年度計	38,356回	※累積視聴回数 40,573回

【専門資料の発行】

公民館活動を行う上で必要になる専門資料を発行し、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。今年度は本連合会で作成した「新訂公民館における災害対策ハンドブック」、「公民館必携 平成29年版」、「新訂よくわかる公民館のしごと」を出版社を通じて継続発行した。

【優良公民館職員等表彰事業】

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈すること、『月刊公民館』でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

《優良公民館表彰及び優良職員表彰実績》

優良公民館職員表彰	17名を表彰した。
優良公民館表彰	65館（うち7館が特別賞）の受賞館に記念の楯を贈呈し、『月刊公民館』で活動を紹介した。 【最優秀館】 名取市那智が丘公民館（宮城県名取市） 【優秀館】 邑楽町中央公民館（群馬県邑楽町） 福井市清明公民館（福井県福井市） 越前市南中山公民館（福井県越前市） 笠岡市新山公民館（岡山県笠岡市） 広島市似島公民館（広島県広島市） 大竹市立栄公民館（広島県大竹市）

Ⅱ 公民館総合補償制度に関する事業

【見舞金制度事業の運営】

公民館総合補償制度のなかで運営し、健全な制度運営と適切な支払いに努め、以下の弔慰金及び見舞金の支払いを行った。また、剰余金の一部を公益目的事業等の財源に充てた。

《見舞金制度支払実績一覧》

種類		件数	支払金額	
行事傷害	急性疾病死亡弔慰金	8件	800,000円	(68件) 4,633,000円
	急性疾病入院見舞金	30件	1,713,000円	
	特定災害見舞金	30件	2,120,000円	
職員災害	職員死亡弔慰金	6件	600,000円	(174件)
	職員入院見舞金	168件	7,220,000円	7,820,000円
合計		242件	12,453,000円	12,453,000円

【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料（団体災害補償保険等の保険料）相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

Ⅲ その他の事業

【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時によき模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹にかかわるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために各種表彰を行った。

今年度の表彰実績は以下のとおり。

《永年勤続職員表彰、功労者表彰、公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	239名
功労者表彰	5名
公連勤続職員表彰	2名